



## 何事にもチャレンジする2学期に！

嘉楽中学校では【ライオン検定】と題して、「ノート検定」「めんせつ検定」を5年前より行っています。また、生徒会本部の取組として月に1回【ライオンソウル】があります。さまざまなお題で「ライオン」が登場するのですが、この「ライオン」が名づけられているのはなぜでしょう？

実は、さだまさしさんの曲【風に立つライオン】から、この「ライオン」は名づけられました。この曲の舞台はケニア（アフリカ）です。そのケニアの診療所で働く日本人の青年医師のストーリーが元です。（道徳の時間にやる予定ですので 詳細は割愛します。）

生きる上ではあらゆる風が吹いてきます。自分が歩んでいく中の新たな挑戦、そして挫折や失敗。それを「風」に例えています。人生を楽に簡単に、と誰でも思いますが、自分自身の力でさまざまなことに向き合うこと。それが【風に立つライオン】として表現されています。

社会に出たときの荒波に立ち向かう力をつけてほしい、そして何よりも自分らしく生きてほしい……

…そんな願いが込められている「ライオン」です。

新型コロナウィルス感染症予防のため、例年通りの行事はできませんが、チャレンジする場や時間が多くののがこの2学期です。失敗を恐れずむしろ失敗も糧にして、何事もやってみることを大切に【風に立つライオン】になろう！



校舎の玄関マットにも「ライオン」。

実は「ななお」という名前もついてるのです。



## 【こ・じ・か】で伝える力をつけよう！

こ = 根拠を示し

じ = 順序立てて

か = 簡潔に

8月24日の2学期始業集会で校長先生から、今年度の学習目標として【こじか】の紹介がありました。上記で述べた【ライオン】、そして、これから始まる【こじか】の取組。【こじか】は、根拠を示し、順序立てて、簡潔に伝える力を、授業を通してつけていこうという目標です。

自分の思いがあっても相手にそれが正確に伝わらないと、誤解が生じたり、互いに嫌な思いをすることもあります。

この2学期から、少しずつ皆も、【ライオン】に加えて【こじか】も意識をしながら学んでいきましょう。



### 保護者の皆様へ

2学期には、例年より縮小した形ではありますが、学校祭（体育の部・文化の部）が行われます。

学級や学年の中で葛藤や挫折もあると思います。成長する時間や場として、見守り支えていただければと思います。

文責：1年主任天谷千恵